

09 テキスト部分に使用されるプロパティ

テキスト部分に対してよく使用されるプロパティ

- **font-weight**プロパティ

太字にしたい場合は、このプロパティに「bold」と指定します。太字を標準状態に戻したい場合は「normal」を指定します。

```
em { font-weight: bold; }
```

- **font-style**プロパティ

斜体にしたい場合は、このプロパティに「italic」と指定します。斜体を標準状態に戻したい場合は「normal」を指定します。

```
em { font-style: normal; }
```

- **text-decoration**プロパティ

テキストに下線を引きたい場合は、このプロパティに「underline」と指定します。「line-through」と指定すると取消線、「overline」と指定すると上線が引かれます。「none」を指定すると、線のない状態になります。

```
strong { text-decoration: underline; }
```

- **line-height**プロパティ

行間（行の高さ）を設定するには、このプロパティに単位を付けない実数値を指定します。すると、行間はfont-sizeの値にその実数を掛けた高さになります。たとえば、font-sizeの値が10pxのp要素に「line-height: 1.5;」を指定すると、行間は15pxになります。

```
p { line-height: 1.5; }
```

- **text-align**プロパティ

ブロックレベル要素に指定して、その要素内での行揃えを行うプロパティです。左揃えにするには「left」、中央揃えにするには「center」、右揃えにするには「right」を指定します。

```
p { text-align: center; }
```